



様式第3号 (第10条関係)

基山町まちづくり提案書

基山町まちづくり基本条例第16条の規定に基づき下記のとおり提案します。

提案期日	2019年 3 月 7 日	
提案種別	提案・意見・要望	
提案件名	ローカルメディア「大字基山」の基山町公認メディア(仮)指定と、一部広報の業務委託	
提案者	住所又は所在地	
	氏名又は名称	
	※提案者が基山町の住民でない場合は、勤務先又は通学先も記入して下さい。	
	提案書の公表にあたり、住所、氏名及び連絡先の公表を希望しますか。 希望する 一部希望する () <u>希望しない</u>	
※未成年者が氏名等の公表をする場合は、法定代理人の承諾が必要です。		
提案の概要	<p>基山町の広報は全町民を対象に、全戸配布・紙ベースでの広報紙の発行と役場HPやFacebookおよび「基山WEBの駅」で、定期的な情報発信を行なっている。一方、2017年より基山町まちづくり基金事業の助成を受けて立ち上がった任意団体「大字基山編集部」は、主に子育て世代やインターネット世代を対象に、TwitterやInstagram等SNSと連動しつつ、町民の生活圏に関わる情報を第三者視点で取材、記事として独自サイト「大字基山」で情報発信している。</p> <p>そこで、行政と民間事業者が共に住民サービスを向上させ、地域活性化や事業効率を向上する取り組みであるPPP (Public Private Partnership : 公民連携) として、基山町と大字基山の協働と、一部広報の業務委託を提案する。紙媒体離れしつつあると思われる世代や、近年増えつつある外国人移住者を対象に、より広域に柔軟な基山町の情報拡散を行うことを目的とする。</p>	
提案の背景	<p>「大字基山」は、町内の子育て世代を中心とするメンバーが自主的に集まり編集部を結成して活動している、基山町発のローカルメディアである。インターネット上のオリジナルサイト (https://ooaza.com/) で町近郊の「暮らし」に役立つ・必要と判断した情報について、町近郊エリアを対象に取材、記事を公開している。月々の読者はおよそ8000人、基山町近郊在住者を中心に、読者層は20代～40代の男女が7割以上を占める(2019年2月時点)。また、外国人移住者の多くも利用すると考えられるインターネットは、自動翻訳機能の利用を比較的簡易に行うことができる。</p> <p>2019年1月に行ったオンライン読者アンケート(およそ100名の回答、別添)によると、基山町近郊で予定されるイベント告知記事の充実を求める声が多くあったため、行政との協働および一部広報の業務委託を提案したい。</p>	

<p>提案の課題</p>	<p>・現状の課題として以下の点が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町主催のイベント情報拡散について、基山町サイトおよび月2回発行の広報紙だけでは網羅できず、スケジュール的にも収集、整理が厳しい。基山町より広く告知したいイベント等が決まり次第、期日を決めて、大字基山編集部に直接の情報提供が望ましい。読者層を意識した編集部主導の方針決定を行いつつ、掲載記事本数の調整も必要。 2. 町民主催のイベント情報は、オンライン上での情報収集が難しい。広く告知したいイベントの場合は、関係者より自発的な情報提供を期待したい。そのためには「大字基山」の対応窓口の周知が必要。 3. 宗教政治活動や私利私欲・営利目的のイベント情報は掲載対象から外すなど、編集部判断の情報の取捨選択が必要。 4. 行政情報を取り扱う以上、サイトの保全管理により一層の力を入れる必要があると考える。サイトの保全管理、リスクマネジメントなど外部の専門家にサポートを依頼したい。 5. 不特定多数および広域への情報発信について、関係者にリスクを共有する必要がある。 6. ポスター類には著作権があるため、責任者からの大字基山への転載許可が今後必ず必要になると考えられる。
<p>目標設定</p>	<p>A. ローカルメディア「大字基山」の基山町公認メディア（仮）指定 B. 一部広報の業務委託</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行政情報をまとめた協働カテゴリの新設 2. 町内イベントの情報収集がしやすくなる仕組み作り 3. 大字基山での町内イベント情報発信の充実（月4本以上） 4. 信頼されるサイトの保全管理

<p>提 案 内 容</p>	<p>対象：基山町の暮らし応援ローカルメディア「大字基山」読者が対象。オンライン検索によって老若男女問わずアクセス自由なサイトであり、再訪問する読者数は年間3万人を見込んでいる。月々の読者はおよそ8000人、基山町近郊在住者を中心に、読者層は20代～40代の男女が7割以上を占める。</p> <p>体制：大字基山編集部と基山町役場の各課が連携して情報収集、サイト保全管理は外部委託を想定。</p> <p>期間：2019年度より1年以上、単年度更新（大字基山が続く限り）</p> <p>事業内容：</p> <p>A. ローカルメディア「大字基山」の基山町公認メディア（仮）指定 基山町公認メディアに「大字基山」を指定し、リリース配信先や記者会見、各種催しの取材活動について、既存メディアと並列に扱う取り決めを行う。</p> <p>B. 一部広報の業務委託</p> <p>1. 大字基山サイト上に協働カテゴリ新設 主に行政からのお知らせ情報をまとめるカテゴリを新設。記事内にポスター画像ないしイメージ画像と、イベント概要を掲載する。記事一本500字以下、月4本程度の配信を想定（年間50本）。イベントに限らず、広く告知したい行政情報があれば掲載対象とする。業務委託（カテゴリ新設、記事執筆、各種SNS連動）により、基山町が大字基山のスポンサー制度「大字サポーター」の筆頭スポンサーとなる。</p> <p>2. 町内イベントの情報収集 大字基山でイベント情報を収集することを周知するために、町内各所に張り出すポスターを作成。基山町広報に掲載。大字基山サイト上でも記事作成、バナー広告を一定期間配置。編集部内にイベント情報に特化した対応窓口を新設する。役場窓口への情報共有も呼びかけるなど。収集した情報は月に1本、まとめ記事として公開、必要に応じて随時更新していく。基山WEBの駅へのリンクなども検討。</p> <p>3. 町主催のイベント情報収集 各課窓口（基山町広報、まちづくり課、こども課、定住促進課、図書館、観光協会といった町民向けイベントを多く主催する課を想定、要検討）と毎月個別に打ち合わせ、翌月掲載のイベント情報を決める。年間記事数50本の中で各所と調整。</p> <p>4. 信頼されるサイトの保全管理 外部専門家による、サイト管理上のリスクマネジメントを実施。毎月もしくは年間通じた新カテゴリのアクセス数報告なども見込む。また、オンライン上での情報公開のリスクや著作権問題について、課題意識を関係各所と打ち合わせ等を通じて共有していく。</p> <p>予算：初年度総額およそ180万円</p> <p>持続性について： 大字基山編集部は自立した取材活動継続のために、人件費など諸経費を自主財源でまかなっていく方針である。今回の協働事業および業務委託によって、町からの継続的な支援を得られる可能性を期待する。</p>
----------------------------	---

※ 提案書に記載された事項のうち、提案者欄以外は公表されます。